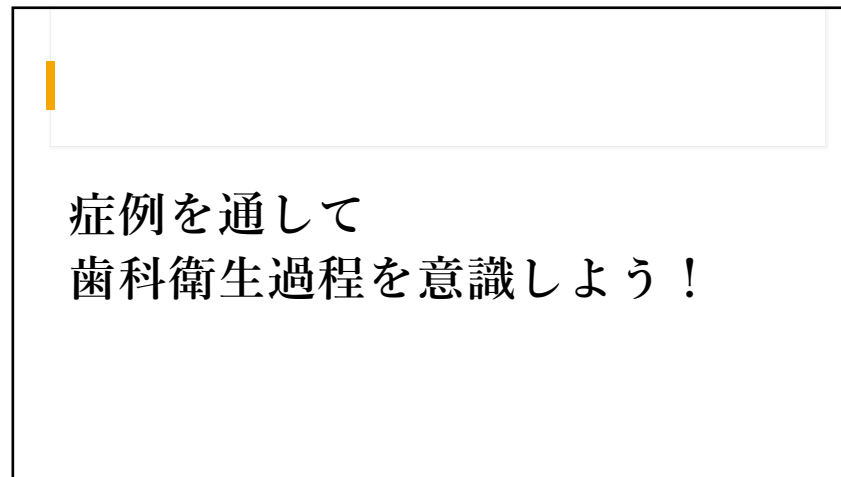
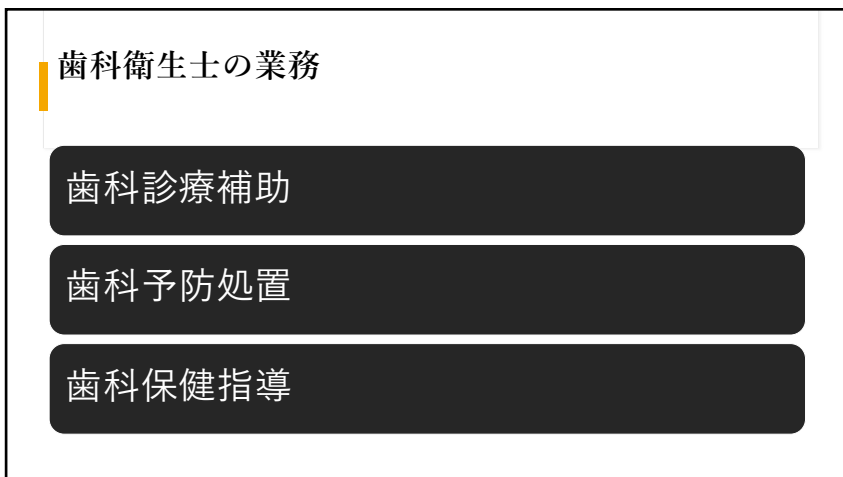




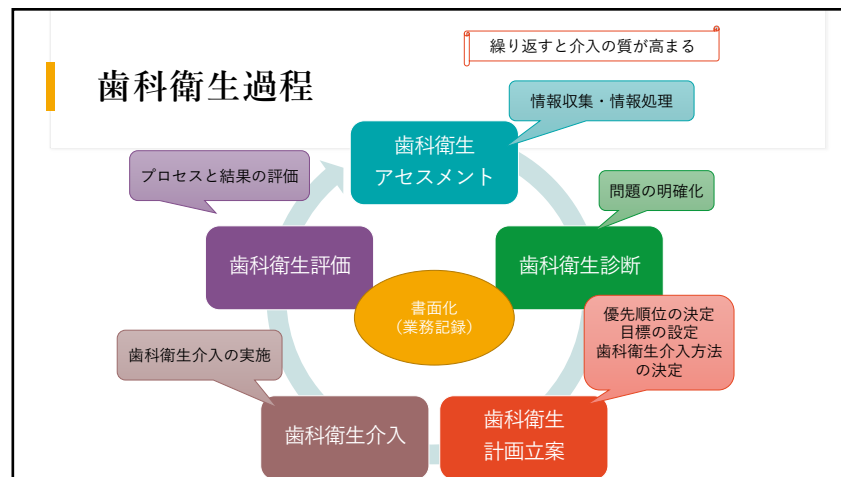
1



2



3



4

あなたならどのような行動を取りますか？



事例

- 歯科医院を受診したAさん。歯科医師に「最近、歯磨きをする時に必ず血が出ます。でも、どこから血が出ているのかわかりません」と訴えています。その後、歯科医師は歯科衛生士にAさんのTBIを指示しました。

5

焦点は「疾患」

「出血するのは歯肉が腫れている証拠なので、優しい力でブラッシングしてください」

赤く染め出して染まったところを患者さんに指摘し「ここはブラシを縦に磨くといいですよ」

「歯間ブラシを使ってみましょう」



医学的要素で患者さんをとらえている

患者さんの心理的、社会的情報も見落とさず、
口腔を含め、包括的に患者を診るスキル

6

考える歯科衛生士とは

- 全身の所見、問診を確認
- 口腔内を観察
- 口腔内諸検査
- エックス線写真
- Aさんの生活習慣や日常のブラッシング状況を聞き出す
- 原因となっていることを瞬時に導き出す

7

ミスをした！

- 出勤時間は8：30までなのに、8：40到着
- 遅刻するな！と注意

8

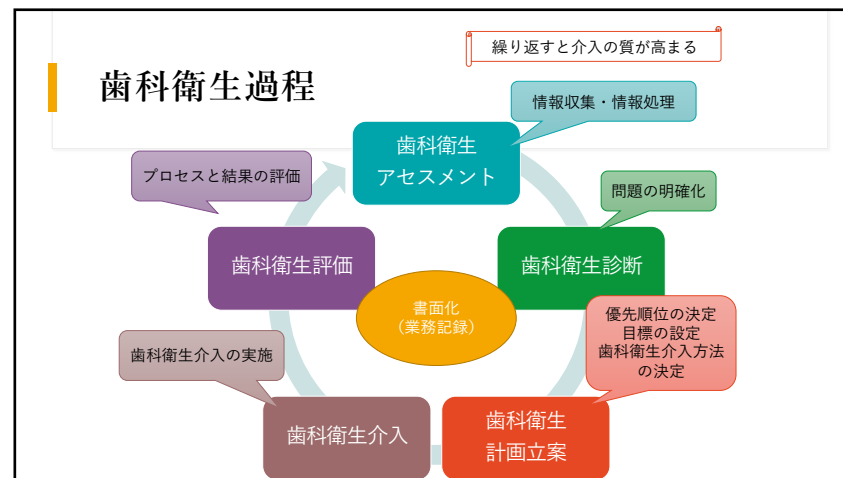
<例> PCRが高い患者さん



患者の訴え	原因・要因
歯は磨いている	歯ブラシ以外の道具を使っていない？
出血が稀くて磨けない	ブラッシングが出来ていない
歯ぐきが腫れているのが気になる	歯科医院に行った事が無い
固いものは噛めない	歯磨きにかかる時間の不足
	歯や口の健康に関心がない

推測 想起 確認

9



10



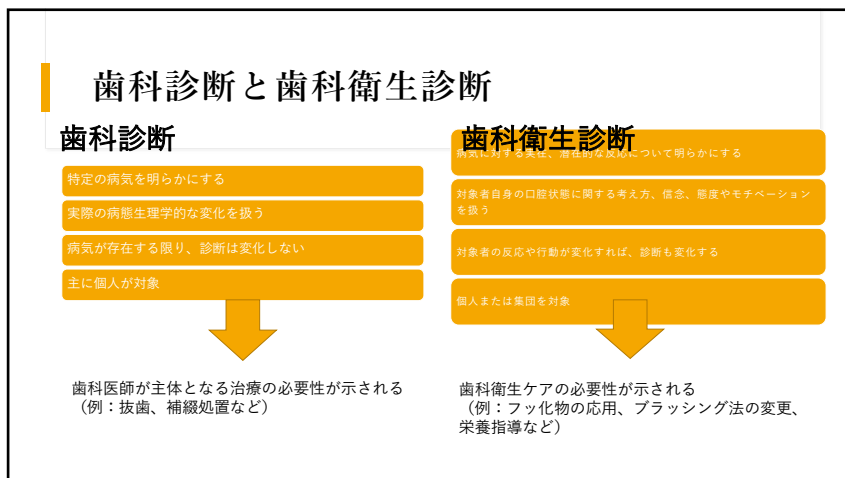
歯科診断と歯科衛生診断

11

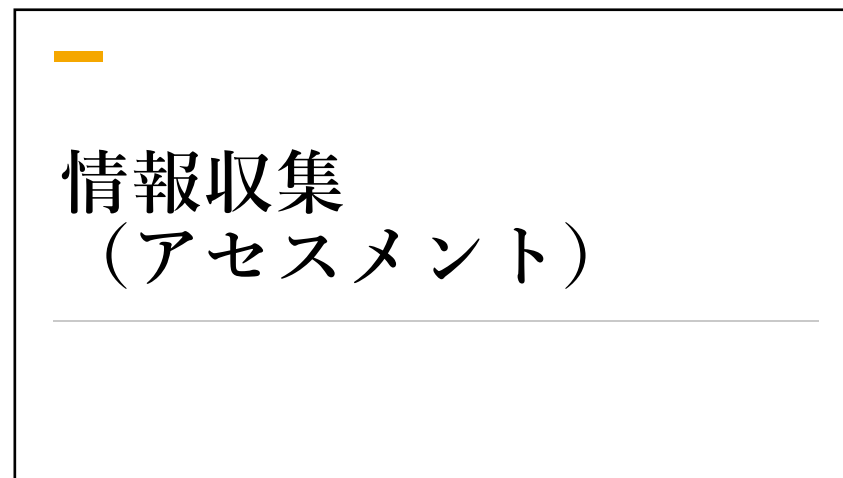
歯科衛生診断と歯科診断の違い

歯科衛生診断	<ul style="list-style-type: none"> 口腔保健活動を行うことが目的。悪い生活習慣を明らかにする。対象者の反応や行動の変化で診断内容は変わる。対象者の口の状態に関して、対象者の理解度をあげたり、動機づけをしたりする。
歯科診断	<ul style="list-style-type: none"> 歯科治療を行うことが目的。疾病がある限り、内容は変化しない。病理学的、生物学的変化を扱う。

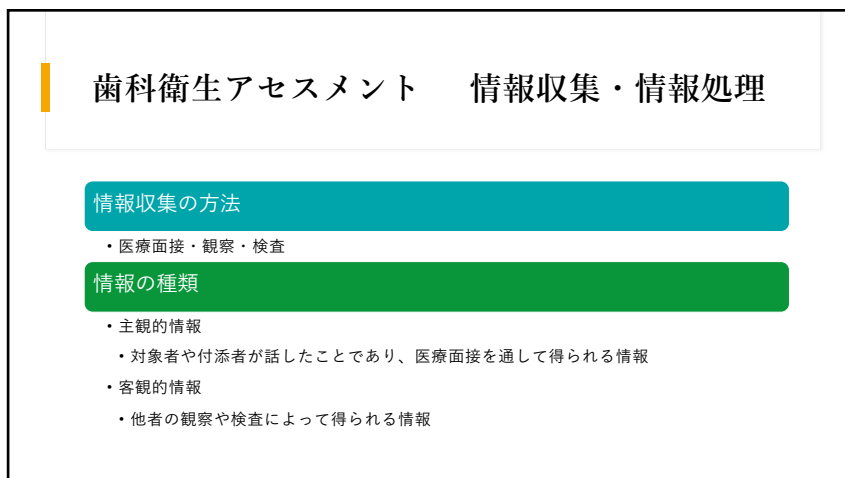
12



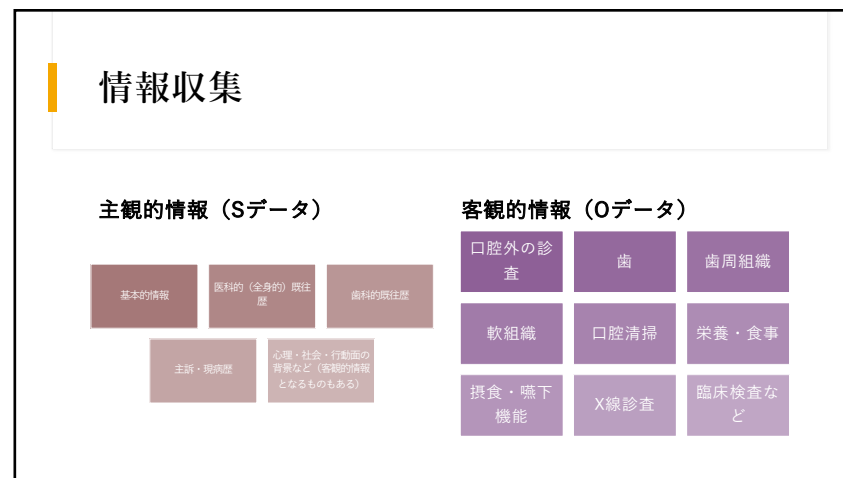
13



14



15



16

歯科衛生アセスメント（事例提示）

氏名・年齢・性別	H. I. 20歳・女性	
職業	学生（専門学校生）	
主観的情報	主訴	「口臭が気になる」
	現病歴	1人暮らしを始めて（2年前から）からしばらくして自分の口臭が気になるようになり、3か月前頃から午前中の口臭がとても気になっている。1週間前に母が訪ねてきたときには「気にならない」と言われた。母から、そんなに気になるようなら受診するように勧められ来院した。
	対象者から聴取した情報	「午前中、自分の口臭が気になり、人と話すと嫌われてしまうのではないかと心配」 「歯を磨いているのに、口臭がするのはどうしてか？」 「3年前までは母と一緒にかかりつけ歯科医院に定期的に受診をしていたが、特に気にならなかったで1人暮らしを始めてからは行ってない」 「間食は食えないが、炭酸飲料をよく飲む」 「朝食は食べないことが多い」
客観的情報	現症	全顎全歯PBD2~3mm・BOPなし・動揺度0・歯石沈着なし・PCR67%
	診断名	下顎両側67 C0

17

患者さんの健康に生活する為のニード



18

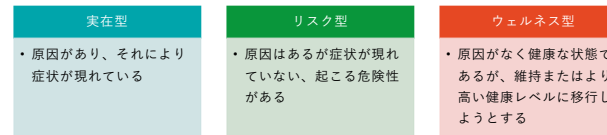
歯科衛生に関連した8つのヒューマンニーズ

歯科衛生に関わるニーズ	定義
①健康上のリスクに対する防御	歯科衛生介入に関連した医学的な制約・リスクから回避したいという欲求
②不安やストレスからの解放	歯科衛生に対する安心感を得たい、歯科衛生介入における不安や不快な感情から解放され、高い評価や尊敬を受けたいという欲求
③歯や口元に対するイメージ	自分の口腔・顔貌、息に対して満足したいという欲求。安定感を得たい、歯科衛生介入における不安や不快な感情から解放され、高い評価や注意、尊敬を受けたいという欲求
④安定した歯・歯列	歯や充填物などが感染から守られ、良好に機能している状態で、栄養を十分に摂取したいという欲求
⑤粘膜の安定	頭頸部（口腔の粘膜、歯肉などを含む）が感染や損傷から守られ、良好に機能している状態でありたいという欲求
⑥痛みからの解放	頭頸部に生じる疼痛、不快感から逃れたいという欲求
⑦本人の理解と概念	自分の口腔の健康に対する判断をするために、適切な知識や概念を持ちたいという欲求
⑧口腔の健康に対する本人の責任	自分のモチベーション、身体的能力、社会的環境の相互作用によって、対象者が口腔の健康に対する責任を持ちたいという欲求

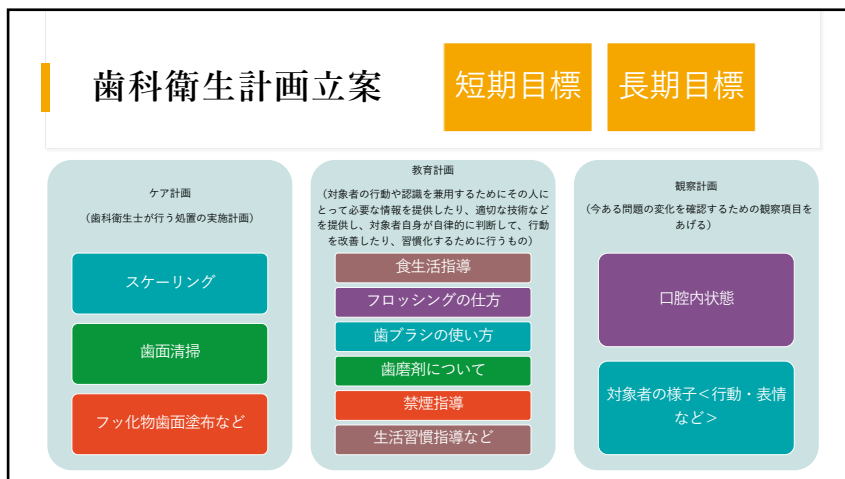
19

歯科衛生診断（問題の明確化）

- ・歯科衛生診断は歯科医師が行う診断を含めないもので、あくまでも歯科衛生士が介入して、問題を解決するための診断である
- ・問題解決にあたっては、対象者が抱える問題のうち、緊急性、本人が最も解決したいと考えている事項、現実可能性が高いものから整理する



20



21

歯科衛生評価

達成
一部達成
達成せず

日付	指導内容	ケア用品	指導担当者
○月△日	下顎前歯部舌側へのブラシの当て方を指導 前回S Cしたがすぐ縁上歯石が沈着 鏡で見せた	タフト#24S	H
○月□日	B rセット ポンティック下への清掃を指導	I DブラシS	K
○月☆日	下顎前歯部 歯石沈着 再度T B I		A
○月×日	B rのポンティック部にプラーク付着 再度歯間ブラシの説明を行う		K
△月△日	忙しかったため、久しぶりの来院 P C R 4 5 %		

22